

うるまの働く農家の皆さん



トマトやオクラを中心に有機栽培に挑戦中。常に情報収集を行い、合理的な農業を模索中。

（ 発想と行動次第で収益アップ!! ）

しきな ともみ 識名共史さん(37歳)

幼い頃から身近だった農業を25歳で始め、自分の理想で経営できるのが最大の魅力です。「おいしい」の聲が嬉しく、有機栽培に挑戦中。将来は堆肥作りから販売まで地域で完結する農家を目指します。



他の業種から畜産業の道へ。削蹄師や家畜人工授精師の資格も取得し、日々挑戦中。

（ 毎日が発見の宝庫!! ）

こうち 幸地 あられさん(45歳)

2013年に神奈川県から移住し、結婚を機に2018年から全くの未経験の畜産を開始。ゼロからのスタートだったが、牛に囲まれる生活には抵抗はなかったです。様々な資格を取得しながら、日々研究を重ね畜産業に挑戦中。



ミニトマトを中心に育て、農業委員も兼務。農業からうるま市を盛り上げたいと意気込む。

（ 熱と夢を持つ!! ）

くによし ちかげ 国吉 千景さん(52歳)

ミニトマトなどを育てる農家であり、農業委員も務めています。農地活用を希望するオーナーと農家をつなぎ、3,500坪の土地をマッチングできたことが嬉しかったです。今後も遊休農地解消を通じて地域農業を盛り上げていきたいです。



きゅうりやピーマンを育てる若手農家。緑の力を届け、食卓に喜びを広げる。

（ 工夫と努力でチャンスは無限大!! ）

ほかま たくみ 外間 匠さん(37歳)

父の病気を機に農家を始めました。3年目頃から売上が次第に安定。体力は必要ですが、勤務時間や仕事内容を自分で管理でき、性格に合っています。出荷が順調だとさらにやる気が湧きます。



い草組合副会長。兼業農家。組合で生産されたビーグは首里城復興にも使用されている。

（ 先人が築いた文化を守りたい。 ）

てるや しゆん 照屋 俊さん(49歳)

「実家の畳は、育てたビーグで織ったもの。それが当たり前じゃないと気づいて、い草栽培を残したいと思いました。県内唯一の『照間ビーグ』は、太くて丈夫で市場価値も高い。後継者不足が深刻ですが、この文化を維持し守りたいです。